

# 日本沙漠学会 第33回学術大会プログラム

北海道足寄町・オンライン

【開催日時】2022年6月11日(土)～6月12日(日)

【会場】

オンサイト：北海道足寄町民センター・多目的ホール



オンラインポスター掲示 (Google Drive) :

<https://drive.google.com/drive/folders/1gPhtcAVjJ1MR4UGoVoaYmBwHKonTOnZ?usp=sharing>

【プログラム】

**6月11日(土)**

**8:30～10:15**

<口頭発表 セッション1> 発表10分, 質疑応答4分  
座長：藤卷晴行 (鳥取大)・真田篤史 (東農大)

**10:20～11:45**

<口頭発表 セッション2> 発表10分, 質疑応答4分  
座長：依田清胤 (石巻専修大)・石川祐一 (秋田県立大)

**11:45～12:15**

<理事会> 会議室3

**12:15～13:00**

<総会> 大ホール/Zoom「総会」ブレイクアウトルーム

**13:30～14:40**

<企画シンポジウム> 大ホール/Zoom

**15:00～15:20**

<ポスター・ショートプレゼンテーション> 発表3分 (質疑応答コメントは Google Drive へ)  
座長：小長谷有紀 (国立民族学博物館)

**16:30～20:00**

<懇親会> ハスカップ園

**6月12日(日)**

8:30 足寄出発 ～ エクスカーション ～ 17:30 新千歳空港 ～ 19:00 酪農学園大学  
<エクスカーション>

- ・北野牧場 (〒089-3875 北海道足寄郡足寄町茂喜登牛 2712)
- ・足寄町石田めん羊牧場 (〒089-3731 北海道足寄郡足寄町中矢 7-1)
- ・[ますやパン麦音](#) (昼食)

【発表プログラム】

6月11日(土)

08:30 学会長挨拶／森尾貴広（筑波大）  
大会委員長アナウンス／星野仏方（酪農大）

セッション1 (8:35~10:15)	
座長：藤巻晴行（鳥取大）・真田篤史（東農大）	
No.	題目／発表者（発表：10分，質疑：4分）
O-01	2018年9月6~7日別山と11~12日劔御前登山日の高山・高原気象推定 真木太一（九大・北大）
O-02	ジブチ共和国ワジ農業におけるソーラー・風力ハイブリッドポンピングの可能性 ○田島淳（東農大）・佐藤愛琉（大林道路）・實野雅太・鈴木伸治・島田沢彦・渡邊文雄（東農大）
O-03	塩水灌漑条件下における水価格を考慮した灌水量の最適化 ○藤巻晴行（鳥取大）・大西純也（国際農林水産業研究センター）・Hassan M. Abd El Baki（鳥取大）・Toderich, K.(鳥取大)
O-04	Optimization of Cultivated Area in a Water Harvesting System with Plastic Sheet and Tank ○Acham Erukudi, Hassan M. Abd El Baki, Nana Jean Bosco and Haruyuki Fujimaki (Tottori Univ.)
O-05	Forage and grain production of three maize cultivars under surface and subsurface drip irrigation systems (Case study: Karaj, Iran) ○Hamed Ebrahimian <sup>1,2</sup> , Fatemeh Heydari <sup>1</sup> , Teymour Sohrabi <sup>1</sup> , Haruyuki Fujimaki <sup>2</sup> （ <sup>1</sup> University College of Agriculture and Natural Resources, University of Tehran, Iran; <sup>2</sup> Tottori Univ.）
O-06	5-アミノレブリン酸の種子粉衣処理が塩類ストレス条件下におけるデントコーンの初期生育に及ぼす影響 ○真田篤史（東農大）・小辻龍郎（北大）・寺田順紀・小塩海平（東農大）・丹羽紗也佳・渡辺圭太郎・田中徹（ネオファーマジャパン）

セッション2 (10:20~11:45)	
座長：依田清胤（石巻専修大）・石川祐一（秋田県立大）	
No.	題目／発表者（発表：10分，質疑：4分）
O-07	2017-2019年における日本企業のアフリカ進出 森尾貴広（筑波大）
O-08	東日本大震災に伴う津波被害への対応：宮城県亘理町の耕作放棄地を利用した10年間の活動報告 ○石川祐一 <sup>1,2</sup> ・杉本英夫 <sup>2,3</sup> ・的場泰信 <sup>2</sup> ・押田敏雄 <sup>2,4</sup> ・福田淳 <sup>2</sup> ・牛木久雄 <sup>2</sup> ・西岡哲 <sup>2</sup> ・青木雄二 <sup>3</sup> ・宮井隆大 <sup>1</sup> ・菊地駿介 <sup>1</sup> ・藤田遼 <sup>1</sup> ・若宮理 <sup>1</sup> ・佐々木祥太 <sup>1</sup> ・長澤昇汰 <sup>1</sup> ・佐藤萌 <sup>1</sup> ・矢吹幸子 <sup>1</sup> ・菅野均志 <sup>5</sup> ・森本英嗣 <sup>6</sup> ・日高伸 <sup>1</sup> ・早川敦 <sup>1</sup> ・高橋正 <sup>1</sup> （ <sup>1</sup> 秋田県立大学, <sup>2</sup> 日本沙漠学会乾燥地農学分科会, <sup>3</sup> 大林組技術研究所, <sup>4</sup> 麻布大学, <sup>5</sup> 東北大学, <sup>6</sup> 三重大学）
O-09	環境・社会変動下における定住牧畜民の水入手問題とその対応 —中国内モンゴル自治区スノド左旗の事例から ウニバト（千葉大）
O-10	ウズベキスタンでの干し柿栽培による農家の収入向上について ○川端良子（農工大）, Elbek TOGAYMURODOV（タシケント農業大）・Dilshod Murodillogli KUVONDIKOV（ウズベキスタン農業省）

O-11	セネガル川流域における農家の作物選択行動の評価: 選択実験による接近 ○丸山優樹 (農水省) ・ Mandiaye Diagne (Africa Rice) ・ 氏家清和 (筑波大) ・ 入江光輝 (宮崎大)
O-12	ケヤキ樹幹内における樹液流動にともなう熱分布動態の解析 ○依田清胤 (石巻専修大) ・ 齊藤忠臣 (鳥取大) ・ 藤巻晴行 (鳥取大)
O-13	遊牧と砂漠化—過去・現在・未来— 篠田 雅人 (名古屋大)

昼食 (11:45~12:15)

総会 (12:15~13:00)

企画シンポジウム「放牧酪農と放牧酪農と SDGs 」 (13:00~14:40)	
司会: 星野仏方 (酪農学園大)	
No.	題目/発表者 (発表: 30分, 質疑: 全演題後にまとめて10分)
演題1	放牧酪農と放牧酪農と SDGs —北海道足寄郡足寄町を事例として— 平田昌弘 (帯広畜産大)
演題2	牛とともに育む放牧酪農 北野紘平 (足寄町酪農家)
演題3	放牧酪農による持続的な地域の発展 荒木和秋 (酪農学園大)

ポスターセッション・ショートプレゼンテーション (15:00~15:20)	
座長: 小長谷有紀 (国立民族学博物館)	
<a href="https://drive.google.com/drive/folders/1gPhTcAVjJ1MR46UGoVoaYmBwHKonTOnZ?usp=sharing">https://drive.google.com/drive/folders/1gPhTcAVjJ1MR46UGoVoaYmBwHKonTOnZ?usp=sharing</a>	
No.	題目/発表者 (発表: 3分, 質疑: なし)
P-01	中央アジア絨毯研究からみるウズベキスタンの遊牧文化 ○志田夏美 (京大)
P-02	半乾燥熱帯アフリカ農村部における食生活とその比較 —ザンビア南部州の事例 ○石本雄大 (弘前大学) ・ 宮寄英寿 (地球・人間環境フォーラム) ・ 梅津千恵子 (京大)
P-03	林間放牧における放牧地への環境影響評価 山崎由理 (鳥取大)
P-04	<i>Cissus rotundifolia</i> の土壌改良資材としての有用性—アルカリ性土壌の中和効果とアレロパシー活性— ○村尾香里・檜谷昂・加藤康太・島田沢彦・中西康博・橘隆一 (東農大)
P-05	ジブチにおける深層地下水の化学的特徴とその分布 ○浅倉康裕・島田沢彦・檜谷昂・中西康裕 (東農大)
P-06	ジブチにおける農園立地環境の農業ポテンシャル評価 ○島田沢彦・佐藤拓巳 (シーエーシー,) ・ 後藤永遠 (システムクエスト) ・ 関山絢子 (東農大)

15:20 閉会/森尾貴広 (筑波大)  
アナウンス/星野仏方 (酪農大)

【事務局】 第33回 日本沙漠学会学術大会実行委員会

事務局 E-mail: jaals2022@gmail.com

大会委員長: 星野仏方 (酪農学園大学教授)



[ポスターへのリンク](#)